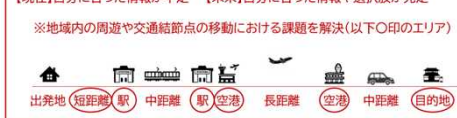
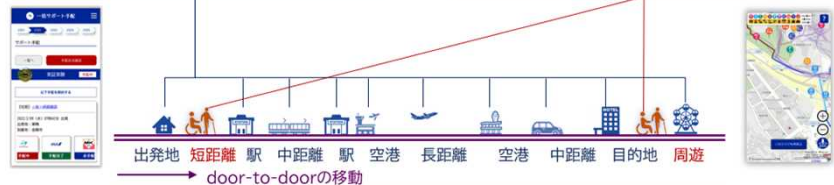


Universal MaaS～誰もが移動をあきらめない世界へ～

移動躊躇層(※)が抱えている課題を、Universal MaaSのコンセプトに従って利用者および自治体、地域、事業者の視点から解決し、行動変容を促すことにより新たな移動需要を喚起する。これまでの実証実験結果、社会実装状況を踏まえ、更に対象を広げる。

※障がいや高齢など、何らかの理由により移動を躊躇している方々。

協議会の 構成員	※下線＝新規団体 【顧問】中央大学研究開発機構 秋山哲男研究室 【幹事】ANAグループ 【協力】交通エコロジー・モビリティ財団	
	【横須賀エリア】横須賀市、京急電鉄、LocaliST（横浜国大 発ベンチャー） 【札幌エリア】札幌市 観光型MaaS「三浦COCOON」との連携検討 【旭川エリア】旭川市、旭川観光コンベンション協会、カムイ大雪バリアフリー研究所	
	【機能/サービス】（以下以外にパートナー数十社を予定） （１）一括サポート手配： JR東日本、東京モノレール、MKタクシー、JR北海道、札幌市営地下鉄 旭川中央交通、旭川電気軌道、道北バス、フェリー会社（調整中） （２）ユニバーサル地図/ナビ： ①屋外 下肢障がい：WheelLog、ゼンリン、ゼンリンデータコム ②屋外 視覚障がい：損保ジャパン、プライムアシスタンス、Ashirase ③屋内 下肢/視覚障がい：清水建設	
地域 課題	介助やサポートを必要としている利用者への対応が、自治体・地域・事業者毎に異なっており、また各交通事業者や施設管理者の連携方法が定まっていないため、利用者側、事業者側、双方の負担となっている。	
事業 概要	サービス 開始時期	一部地域で社会実装完了。昨年度の課題解決・追加機能の実証実験後、2023年度以降のサービス横展開を目指す。
	事業エリア （下線＝新規）	【横須賀】中心部、観光地周辺、連携都市（松山） 【札幌】中心部（重点整備地区）、郊外エリア 【旭川】観光地までの各種交通動線と交通結節点周辺
	MaaS システム	既存経路検索サービスや観光案内サイトに以下を連携し、住民や観光客にご利用いただく （１）一括サポート手配 （２）ユニバーサル地図/ナビ
	交通 サービス	● 鉄道、バス、タクシー等に関する各種交通サービス、交通結節点の移動支援、目的地内の周遊支援 ● 希望するルートを選択・保存し、旅程管理や介助手配状況の確認を可能とする情報・機能の提供 ● 介助を必要とする利用者が支援内容を事業者により依頼し、事業者が回答するコミュニケーション機能の提供
	交通以外の サービス	● 徒歩エリアの移動を補助するユニバーサル情報 ● 各種移動支援サービスや機能との連携
事業 目的	利用者および自治体、地域、事業者の視点から、移動に困っている人々の課題解決を行い、行動変容を促すことにより新たな移動需要を喚起する。	

取組イメージ	
MaaSを通じて提供するサービスを含む事業イメージ	
各種交通移動における一括サポート手配の実現 【現在】各事業者へ個別に都度、連絡・確認 【未来】各事業者に一括手配 	徒歩区間における情報統合の実現(地図/ナビ) 【現在】自分に合った情報が不足 【未来】自分に合った情報や選択肢が充足 ※地域内の周遊や交通結節点の移動における課題を解決(以下○印のエリア) 
利用者/地域・自治体・事業者の視点で課題整理、実証実験を経て解決策確立、あるべき姿の実現を目指す	
課題	各種交通移動シーン 各事業者に、個別に介助手配依頼をするのが大変 徒歩シーン サービスや情報が不足していて自律的な移動が難しい
解決策	(1)一括サポート手配 各事業者の介助手配窓口を一元化、当日の移動もスムーズに (2)ユニバーサル地図/ナビ 様々な情報を集約して提供、自律的な移動を補助 
あるべき姿	誰もが快適にストレスなく移動を楽しめる社会の実現

評価指標	
● [指標]以下サービスの利用数 （１）一括サポート手配、（２）ユニバーサル地図/ナビ ● [目標]（１）昨年度同時期における介助を必要とする方々と付添者の来訪者数5%増 （２）昨年度における月間最大値の5%増 ● [測定方法]利用実績ログより算出	
今後の方向性	
（１）一括サポート手配：観光地および住民の生活圏をゴールとした各種交通の手続きを統合 （２）ユニバーサル地図/ナビ：街の中心部や観光地周辺の情報・サービス等を統合 ⇒(1)(2)の対象エリアを増やし、並行して対象となる移動躊躇層の幅を広げていく	